



リハビリ



透析



3F 介護医療院



(関連施設)II型介護医療院、看護小規模多機能型居宅介護、グループホーム、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、有料老人ホーム、デイサービス。

り、また治療効果により若いがんサバイバーの方が増え、高齢化してきます。超高齢化社会を迎えることになりませんが、がんを罹患しても元気な高齢者である必要があります。がんの患者さんは、全高齢者から見ると一部であり、脳血管障害、心疾患、さらに今後増加す

ると考えられる誤嚥性肺炎、骨折後の廃用性症候群への対応も重要となります」  
夏越院長はまた、地域医療の担い手としての使命感も鮮明だ。「地方の人口減少ならびに少子高齢化、病床数の削減により地域医療が厳しくなる中、当院は始良地区のみなら

ず、始良市周辺市町村の患者さんのお役に立てるように努力していきます。今後、急性期病院は集約化され、在院日数の短縮が必要となります。急性期病院からの受け皿としての役割を担うことが重要となります。また、リハビリテーションが必要な患者さん、透析が必

要な患者さん、その他の慢性疾患や悪性疾患を有する患者さんとは、回復期、慢性期の入院の患者さんをしてできるだけ早く自立できるように支援することが大事です。若い人から高齢者に至る全世代の皆さんが、元気で活気のあるまちづくりを目指して、職員が一丸



(ライター/斎藤 純)

となつて、安心、安全そして信頼される医療を目指していきたいと思っ



夏越祥次 院長  
広島大学医学部卒。日本消化器外科学会名誉会長・名誉会員、日本外科学会特別会員、日本食道学会名誉会員、日本胸部外科学会特別会員。

## 高度急性期から回復期慢性期、介護医療院の経験を基に地域住民の健康維持に使命感

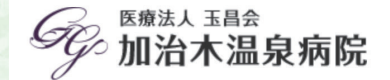
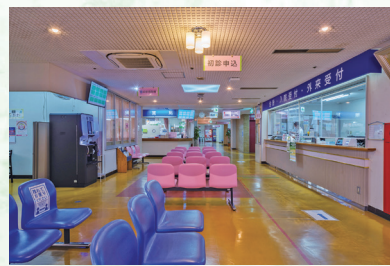
大学院教授などを歴任信頼される医療を目指す

17の診療科と8分野の専門外来を擁する『加治木温泉病院』の夏越祥次院長は、留学したドイツのミュンヘン工科大学時代も含

め、消化器がんの外科治療と術前診断、分子生物学的・遺伝子学的視点からみたがんの悪性度、がんの微小転移、局所がん化学療法などの研究を重ねてきた。鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器・乳腺甲状腺外科学教授、鹿児島大学病院長、同大副学長を歴任し、2020年に同病院

の院長に就任した後は、高度急性期病院での深い医学知識と豊富な臨床経験を生かして、回復期・慢性期、介護医療院で地域住民の健康維持に力を注いでいる。専門分野であるがんの治療について、夏越院長のスタンスが伝わるのが、大学病院長としての医療専門紙・九州医事新報のインタビューで

示した見解だ。「進行がんに対して、まず化学療法、放射線治療をして、その後、手術をするといった集学的治療への関心が高まっています。現病院に移ってから、癌の治療成績を向上させることは、平均年齢が上がることにつながります。高齢者の増加によりがん罹患する年齢も高くな



☎ 9:00~12:00 14:00~17:30  
☎ 日曜日・祝日・土曜日午後

医療法人 玉昌会 加治木温泉病院  
かじきおんせんびょういん  
☎ 0995-62-0001 ☎ kaon@gyokushoukai.com  
Ⓧ 鹿児島県始良市加治木町木田4714  
https://www.kjko-hp.com/